OpenAM コンソーシアム





- コンソーシアム版OpenAM開発状況
 - OpenAM 開発
 - Web Agent 開発
 - コミュニティサイト



OpenAM 開発(1)

OpenAM 14 リリース

状況	2019/12/23 に 14.0.0 をリリース https://github.com/openam- jp/openam/releases/tag/14.0.0
新機能	■ WebAuthn 認証モジュール ■ SAML2/OAuth2 認可(ポリシーによる保護) ■ OpenJDK11 対応
その他の修正	□ ForgeRock Security Advisory 対応 □ オージス総研 & OSSTech の独自パッチのマージ 詳細はリリースノートを参照 https://openam-jp.github.io/ja/OpenAM-14.0.0-Release-Notes/



OpenAM 開発(2)

OpenAM 15 開発

状況	バージョン情報を15.0.0-SNAPSHOT として次バージョンの 開発を開始。
実施内容	■ Issue の残件対応(14 で対応しなかったもの) ■ メモリーリークの修正(2 件) ■ Cookie Same Site 対応 ■ WebAuthn プロトコル追随
今後の予定	□ 3~4 年のスパンで開発を想定 □ 新規機能の検討・開発 → DevOps 推進 → プロトコルの更新への追随 (OAuth/OIDC/WebAuthn) → REST API の拡充と XUI 化 → ライブラリのアップデート・排除 → OpenJDK 17 (次期 LTS 版) 対応



Web Agent 開発

Agent 4.2 開発開始

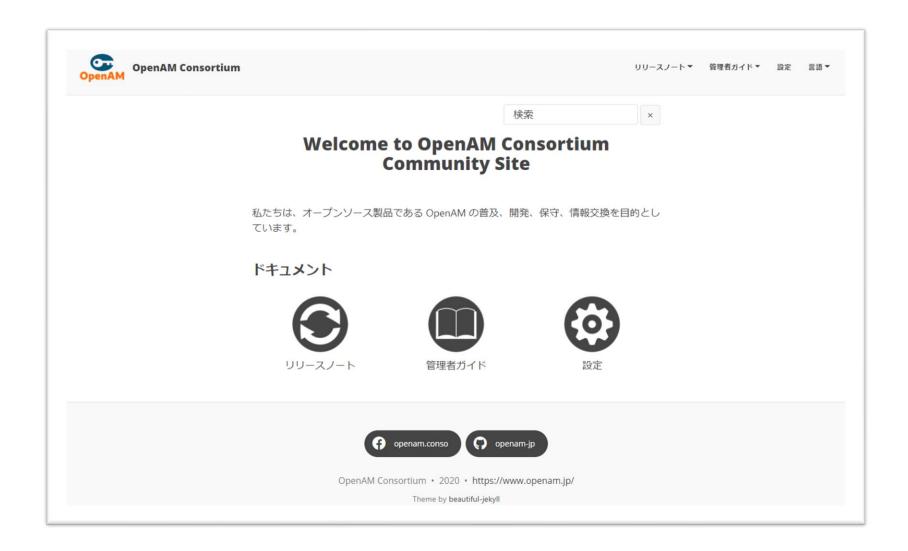
状況	これまでコンソーシアム版として OpenAM を対象としてきた。 新たに Web Agent もフォークし、開発を開始した。 https://github.com/openam-jp/web-agents
実施内容	□ ForgeRock 版 4.1.0 をベースに開発を開始 □ Issue の起票中
今後の予定	OGIS、OSSTech のパッチをマージして 4.2.0 としてリリース予定。



コミュニティサイトの作成

状況	GitHub Pages でコミュニティサイトを作成。
	https://openam-jp.github.io/ja/
	現時点のコンテンツはOpenAM 14のリリース時に GitHub wiki で公開した内容(リリースノートや新機能の説明など)。
今後の予定	コンテンツを拡充していく。コンソーシアム WEB サイトで公開している技術文書の移行も検討したい。

コミュニティサイト





https://www.openam.jp/